

# 3 調査推進のための各種活動

## (1) 広報・イベント活動

### ア ニュースレターの発行

2023年夏号(令和5年6月)・2023年秋・冬号(令和5年11月)、2024年春号(令和6年3月)の計3回発行した。また参加者さまよりご応募いただいた、お子さまの「〇〇に夢中!! フォト」を表紙に掲載した。さらに昨年に引き続き、「遊んで! 学んで! エコチルキッズ」と題した子ども向け記事においては、各号テーマを変えて掲載し、また「おしえて先生」など親子で楽しめる内容も提供した。各号(参加者あて約11,330部、市町村等関係機関あて約1,500部、計12,830部)

**エコチル★ふくしま こぼちる通信** No.37  
2023年夏号

**〇〇に夢中!! フォトコーナー**

**おしえて先生! あんなと、こんなと**

**お知らせ**

**小学6年生定期検査**

**はじめて!**

発行/エコチル調査推進センター

**遊んで! 学んで! エコチル★キッズ! vol.6**

**天文ショーについて聞いてみました**

**2023年の最大満月 ブルームーンとスーパームーン**

**8月 ベルセウス座流星群に願いを!**

**12月 ふたご座流星群をつかまえよう!**

**13歳以降の調査がスタートします!!**

**6歳以上の調査がスタートします!!**

**マイ弁当**

**7月21日 動画配信開始**

**エコチルキッズの皆さんへ**

**12歳のおこさんごとのプレゼント**

**エコチルキッズの皆さんへ**

**マイ弁当**

2023年夏号(令和5年6月発行)  
2023年秋・冬号から2024年春号は、資料編を参照

## イ 活動報告書の作成

エコチル調査の毎年の活動状況を記録するとともに、調査にご協力いただいている行政機関、医療機関、教育関係機関など各分野の関係者への配布を通じ、調査への一層の理解促進と円滑な事業推進を図ることを目的とする。

(ア) 令和5年度の実績

令和4年度活動報告書を500部作成し、7月に地域運営協議会委員を含む関係機関・団体等に配布した。

(イ) これまでの実績

平成22、23、24年度版活動報告書として平成25年度に発行して以降、平成25年度版以降は、各年度の翌年度に発行している。

なお、令和2年度版からは分かり易い内容・構成に見直すとともに、従来のモノクロからフルカラーとするなど、全面的な見直しを行った。

## ウ メールマガジンの配信

学内の教職員及び学生向けに、エコチル調査のデータ集計結果や論文などを紹介する「情報発信：エコチル調査」を計10回配信

発行	配信日	トピック	論文紹介（筆頭著者所属名）
第69号	令和5年5月25日	新設：キッズページ『作ってみよう!』	自然分娩における分娩所要時間と子どもの神経発達との関連（福島県立医科大学 産科婦人科学講座 村田強志先生）
第70号	令和5年6月29日	エコチル調査の期間延長&13歳以降の準備	胎児期・乳児期のペットへのばく露と食物アレルギーの関係（福島県立医科大学 小児科学講座 岡部永生先生）
第71号	令和5年7月27日	夏休み企画を公開	分娩時の羊水混濁と児のアレルギー性疾患（福島県立医科大学 産科婦人科学講座 村田強志先生）
第72号	令和5年8月31日	ニュースレター夏号を発刊しました	生後18か月での入浴時の石鹸使用と3歳時のアレルギー疾患との関係（共著者 福島ユニットセンター）
第73号	令和5年9月28日	サマースクールを開催しました	妊婦の葉酸摂取と子どもの4歳時の認知能発達（福島ユニットセンター 西郡秀和先生）
第74号	令和5年10月26日	動画配信開始：サマースクール	妊娠中の母親の抗生物質使用と小児アレルギーとの関連（千葉ユニットセンター）
第75号	令和5年11月30日	発刊：ニュースレター秋・冬号	妊婦の職業上の原油精製物使用と子どもの生後12か月までのぜん息（ぜん鳴）発症の関連（福岡ユニットセンター 産業医科大学サブユニットセンター）
第76号	令和6年1月11日	本年もよろしくお願ひします。	妊婦の有機フッ素化合物（PFAS）ばく露と生まれた子どもの4歳時におけるぜん鳴・ぜん息症状の有無との関連（甲信ユニットセンター 信州大学サブユニットセンター）
第77号	令和6年2月29日	たまひよWEBに掲載されました	妊婦の血中有機フッ素化合物（PFAS）濃度と4歳までの川崎病発症の関連 妊婦の有機フッ素化合物（PFAS）ばく露と生まれた子どもの4歳時におけるぜん鳴・ぜん息症状の有無との関連
第78号	令和6年3月28日	動画配信：環境セミナー	妊婦への身体的心理的DVと生まれた子どもの3歳時の自閉スペクトラム症（福島県立医科大学 産科婦人科学講座 磯上弘貴先生）



## エ イベント等の開催

### (ア)環境セミナーの開催

#### 第6回エコチル★ふくしま環境セミナーの実施

【開催日時】 令和6年2月4日(日) 対面・オンライン開催 13:30～15:00

【対象者】 エコチル調査参加者

【参加者数】 7組21名

会場参加者:6組19名、オンライン参加者:1組2名

【講師】 コミュタン福島(福島県環境創造センター) 滝浦 真弓さん  
エコチル調査福島ユニットセンター センター長 橋本 浩一先生

【目的】 エコチル調査参加者の環境問題に対する関心などにお応えすること

【内容】 1. SDGs 研修基礎編～クイズに答えながら楽しくSDGsを学ぼう～

私たちが生活の中で「ふつう」だと思っている暮らしは、地球にとっても「ふつう」のことなのか、日本や世界が抱えている環境問題についてクイズを通して学んでいただいた。

2. エコチル調査でわかってきたこと

エコチル調査の概要及びエコチル調査でわかってきたことを説明するとともに、エコチル調査が13歳以降も継続となることをご理解いただいた。

3. コミュタン福島展示室周遊ツアー(会場参加者のみ)

コミュタン福島スタッフの説明を聞きながら展示を見たり、触れたりすることで、福島環境についてより深く学んでいただくことができた。

第6回  
エコチル★ふくしま  
環境セミナー

～クイズに答えながら楽しくSDGsを学ぼう～  
「未来のために、自分にもできること、きっとある」  
この機会に身近なSDGsについて親子で学んでみましょう。

日時 2024年2月4日(日) 13:30～14:30

会場 コミュタン福島  
福島県環境創造センター交流棟(日暮町10-2)

13:30～14:30 SDGs研修基礎編  
\*参加場所 コミュタン福島:会場参加者20組(一家4名まで)  
オンライン参加:webex参加者20組  
\*参加費 無料(お申込み手数料等は別途となります。)  
\*参加対象 エコチル調査にご参加のお子さまとご家族  
\*申込方法 エコチル★ふくしまホームページ  
「イベント情報」申込フォームからお申込みください  
【申込期間】2023/12/1(金)～2024/1/5(金)

14:30～15:00 【コミュタン福島】展示室周遊ツアー  
\*セミナー終了後、会場でご参加の方は、コミュタン福島スタッフ  
ガイドのもと展示を存続しながら、楽しく学ぶことができます。

【主催】 公立大学法人福島県立医科大学 エコチル調査福島ユニットセンター  
【共催】 福島県環境創造センター 交流棟 コミュタン福島

【イベントに関するお問合せ先】  
エコチル調査福島ユニットセンター 秋山事務所  
☎ 024-983-4750 (平日9:00～17:00)



## (イ)エコチルふくしま親子ふれあい会の開催

### 【目的】

- ①エコチル調査参加者親子・参加者同士そして参加者と福島ユニットセンターとのコミュニケーションを深める。
- ②参加者が、エコチル調査を長期間にわたり協力していただくためのモチベーションを高める。

### 【開催時期】

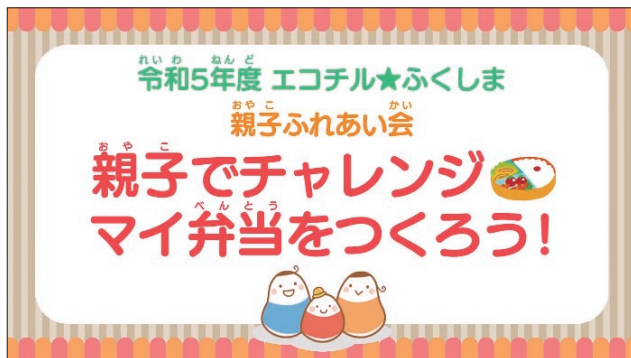
子どもの成長発達段階で重要といわれている時期に合わせて実施  
県内全域で平成 24 年度から実施している。

### 【令和 5 年度実績】

感染防止のためオンデマンド配信により開催した。

「親子でチャレンジ マイ弁当をつくろう!」

- ・郡山開成学園郡山女子大学の教員と学生による食育動画の配信（令和 5 年 7 月 21 日より公開）
- ・参加者アンケートへは、「一からお弁当のレシピを作って、食材を買ってお弁当を作り終えるまでが、とても楽しかったです。」「家族で作って楽しかった」「とても楽しく家族時間過ごせました。」「動画の説明がとてもわかりやすかったです」などの感想があった。





## (ウ) 全県イベント

全県イベント 「エコチル★ふくしまサマースクール in アクアマリンふくしま」

### 【目 的】

- ①福島ユニットセンターに属する調査参加者のモチベーションの維持・向上。
- ②県民に対しては調査の知名度向上を目指し、エコチル調査の成果を親しみやすく紹介し、社会貢献性の高い調査であることを周知する。

### 【開催日時】

令和5年 8月 21日 (日) 10時 30分～ 12時 30分

### 【開催場所】

アクアマリンふくしま (ふくしま海洋科学館) / 福島県いわき市

### 【参加者数】

小学生親子 39組 101名

### 【令和5年度実績】

「海を通して『人と地球の未来』を考える」を理念とするアクアマリンふくしま (ふくしま海洋科学館) との共催により、館内のシアターを主な会場とし、エコチル調査の成果発表、アクアマリンふくしまの見どころ紹介、はく製や海の生き物に直接触れ合う体験学習を行った。「エコチル調査でわかってきたこと」では、福島ユニットセンター長から福島県の最新の調査データ等について説明した。その後3グループに分かれ、それぞれ水族館の指導員の方から海の生き物について詳しいお話を伺い、海洋生物と環境への理解を深めた。

イベントの様態を撮影した動画は、令和5年10月23日から福島ユニットセンター YouTube にて公開し、令和6年3月31日までに約570回視聴された。

<イベントチラシ>

よりよい環境ってなんだろう?  
エコチル★ふくしま  
SUMMER SCHOOL  
サマースクール  
……in アクアマリンふくしま……  
2023年 8月 21日  
イベント参加者 大募集!  
アクアマリンふくしま  
入館券つき  
プログラム  
●「エコチル調査でわかってきたこと」の紹介  
●アクアマリンふくしまの見どころ紹介  
●アクアマリンふくしまの職員の解説を聞き  
海の生き物ははく製にさわってみよう  
応募はこちらから  
検索 エコチル ふくしま  
お問い合わせ  
エコチル調査福島ユニットセンター  
(郡山事務所)  
TEL.024-983-4750(平日9時～17時)  
主催 公立大学法人福島県立医科大学 エコチル調査福島ユニットセンター  
共催 アクアマリンふくしま  
福島県立医科大学  
環境水族館  
アクアマリンふくしま

<成果発表の様子>



<体験学習の様子>



## オ 市町村イベントへの参加

(ア) エコチル調査の周知及び調査に対する理解を促すことを目的として、郡山市が主催する第58回郡山市こどもまつりにコーナー出展し、活動内容や調査でわかったことなどについての広報活動を行った。

【開催日時】 令和5年5月5日(金・祝) コーナー運営 10:00～15:00

【会場】 郡山市カルチャーパーク(郡山市安積町成田字東丸山61番地)

【来場者数】 約4万2千人(主催者発表)

エコチル調査に関する資料の配布数:1,500部

【活動内容】 エコチル調査に関する掲示・説明等の広報活動

1. エコチル調査に関する資料の配布
2. 活動内容のパネル展示
3. エコチル調査クイズの実施
4. 保護者への育児に関するアンケートの実施



(イ) 令和5年度いきいき健康づくりフォーラム in 二本松において、エコチル調査のPR活動としてブース出展を行った。

【開催日時】 令和5年12月10日(日) 10:00開会 コーナー運営 10:00～15:00

【会場】 安達文化ホール(福島県二本松市油井字濡石1-2)

安達公民館(福島県二本松市油井字濡石3-1)

【来場者数】 いきいき健康づくりフォーラム全体の来場者:2,168人(主催者確認)

エコチルブースの来場者:約700人(うちエコチル調査参加者:5組)

【活動内容】 エコチル調査に関する掲示・説明等の広報活動

1. エコチル調査に関する資料の配布
2. 活動内容のパネル展示
3. 握力測定



## カ その他の活動

### (ア) グッズの配布

エコチル調査に継続参加していただくことを主たる目的として、全調査参加者にオリジナルカレンダーを贈呈した。また、エコチル調査の周知及び調査に対する理解を促すことを目的として、市町村等が主催するイベントにおいてエコバッグやアルコール除菌ジェル等を配布し広報に努めた。

## (2) 地域運営協議会

### ア 開催目的

エコチル調査の円滑な遂行を図るために、福島県地域運営協議会の他、県内地域ごとに4つの協議会(県北・相双、県中・県南、会津、いわき)を設置し、各地域の医療、保育・教育、行政(市町村)の約210名の方々に委員委嘱をしている。調査実績や今後の調査に関する情報発信、普及啓発を行うとともに、各方面の様々なご意見を伺うことを目的とし情報交流の推進を図る。

### イ 開催状況

令和5年度は、7月に福島県地域運営協議会、10月に県北・相双地域運営協議会、県中・県南地域運営

協議会、11月に会津地域運営協議会、いわき地域運営協議会をハイブリッド形式による開催により実施した。

## ウ 議事内容

- 全国のエコチル調査の現状について（コアセンター）
- 本県のエコチル調査の実施状況、参加者への調査結果の返却等、参加率維持のための取組、学術活動、令和4年度年次評価書について（福島ユニットセンター）

## エ 意見聴取等

全般的には、概ね調査に対しての労い、調査の継続に期待する声が多かった。調査結果・分析に対する期待、本調査の知名度アップのための広報活動の促進、年次評価の評価基準に関する事、今度の支援や協力体制について様々なご意見があった。

会場とオンラインでの開催となったが、参加方法を状況や状態に合わせた開催方法だと参加しやすいという声があった。

## (3) 関係機関訪問

訪問を通じてエコチル調査への理解と協力を求めるのが目的。

### ア 市町村訪問

調査開始時には、県内全市町村を訪問し、調査に対する理解と協力を求めた。

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故によりリクルートを中断した南相馬市及び双葉郡8町村に対しては、調査開始時に対象地域であったことから、毎年訪問し、子どもの生活環境などを聴取するとともに、調査推進等について支援を依頼してきた。

今年度は、地域運営協議会の開催（ハイブリッド形式）を通じて、活動状況等をお知らせし、理解と協力を求めた。

### イ 協力医療機関訪問

詳細調査では令和5年度から新たに協力いただいた2施設に訪問し、医学的検査について説明と依頼を行った。また、集団健診方式での医学的検査を開始するため、基幹病院1施設を訪問し説明、依頼、施設見学をした。令和6年3月より、現在協力いただいている医療機関を訪問し、令和5年度の実施状況報告を行った。（令和6年5月にかけて32施設を訪問予定）

学童期検査では詳細調査協力医療機関以外に県内各地域の小児科医師に対してオンラインによる説明会、配布資料による説明を実施した。新たに詳細調査協力医療機関以外にも13施設の協力を得て、令和6年5月1日現在40施設の協力医療機関がある。令和5年度末から令和6年5月までに全協力医療機関を訪問し、2023年度の経過報告と2024年度の協力依頼を行う予定。

### ウ 教育関連機関訪問

#### (ア)今年度の実績

5月から8月にかけて県教育庁の各教育事務所と福島県小学校長会の関係者を訪問し、活動状況等をお知らせし、調査への理解と協力を求めた。

#### (イ)これまでの実績

平成23年度に出生した子どもたちが平成30年度から小学校入学を迎え、エコチル調査について説明し、



調査への理解と協力を求めるため、平成 28 年度から教育事務所及び小学校長会の関係者を訪問している。  
 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元、2 年度は実施していない。

毎年、訪問時には、地域別に設置している福島県地域運営協議会委員就任について、各教育事務所長及び小学校長会役員の方々に依頼し、承諾をいただいている。

## (4) 各種研修の実施

### ア 代行研修

令和 5 年度は、ユニットセンター職員等 24 名に対し、センター長が講師として、「エコチル調査の概要、疫学研究の基本、環境、化学物質と健康」等の内容で入職時の研修を 5 回（令和 5 年 4 月 5 日、4 月 8 日、6 月 13 日、7 月 5 日、12 月 12 日）実施した。

これまでに実施した医療機関、市町村、ユニットセンター職員等に対する研修は、累計 94 回、受講者は累計 795 名となった。

### イ 職員研修

ユニットセンター主催で全職員を対象に次の研修を実施した。

開催日	研修名	所管
令和 5 年 6 月 27 日	前期職員研修 ・リスク管理、個人情報の取扱い、情報管理 ・全体調査、学童期検査、詳細調査、ポータルシステム、文書管理、PDCAサイクル	福島ユニットセンター
令和 6 年 2 月 7 日	後期職員研修 ・全体調査、学童期検査、詳細調査、 広報コミュニケーション、事業計画 ・教養講座 メンタルヘルス研修「職場のメンタルヘルスと心理的安全性」（講師：福島県立医科大学健康管理センター 公認心理師 松本貴智）	福島ユニットセンター

### ウ その他の研修

環境省、コアセンター、学内機関等主催の各種研修にも積極的に参加した。

<参加した主な研修>

開催日	研修名	所管
令和 5 年 5 月 8 日 ～ 6 月 30 日	AED研修 (web)	福島ユニットセンター
令和 5 年 6 月 13 日	ダイバーシティ推進員研修会	医大ダイバーシティ推進室
令和 5 年 6 月 27 日 ～ 7 月 31 日	競争的資金に関するコンプライアンス研修 (eラーニング)	医大事務局
令和 5 年 9 月 20 日 ～ 12 月 15 日	情報セキュリティ研修 (eラーニング)	医大学習情報センター
令和 5 年 10 月 3 日 19 日	ダイバーシティ推進職場研修会	医大ダイバーシティ推進室
令和 5 年 11 月 27 日	リスクコミュニケーションに関する研修会	環境省
令和 6 年 1 月 22 日 ～ 2 月 16 日	コンプライアンス研修 (eラーニング)	医大コンプライアンス委員会
令和 6 年 2 月 8 日	ハラスメント防止研修	医大事務局